

WTO・EPA つぼの壺

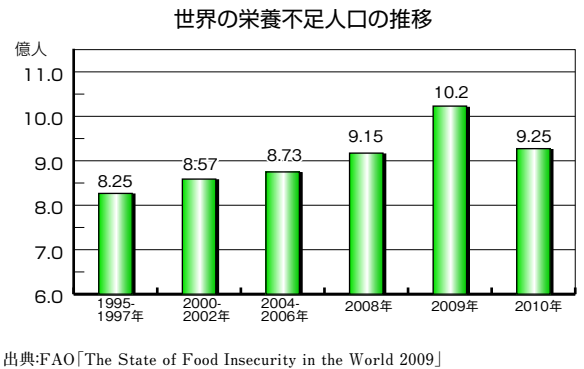
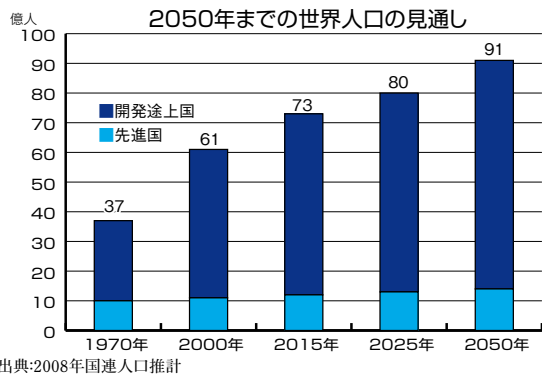


●世界の農業者・農村社会の発展を目指して～WFO(世界農業者機構)の設立～●

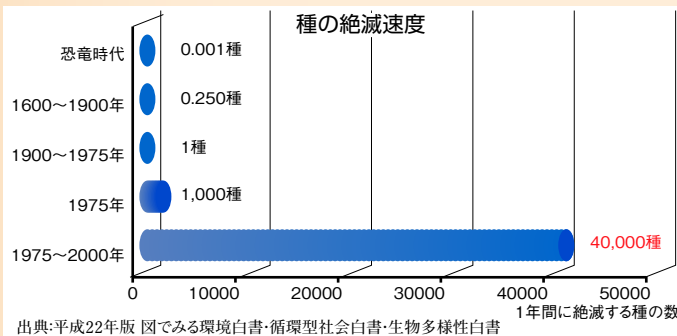
近年の食料需給のひっ迫や、生物多様性の維持、気候変動への対応など世界の農業団体は国際的な連携の下解決していかなければならない多くの課題に直面しています。こうした中、3月29日、世界40カ国以上60に及ぶ農業団体代表の出席のもと、新たな国際組織「WFO(世界農業者機構)」が発足しました。今回は、当機構の設立趣旨や解決すべき課題について報告します。

世界の農業・農業者が対応しなければならない課題

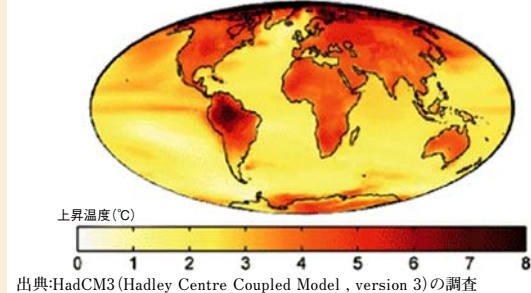
●人口の爆発的な増加や飢餓人口の減少に対応するための食料増産



●生物多様性や気候変動など地球規模の課題への対応



1960年-1990年の平均値に対する2070年から2100年の平均気温変化量の予測



こうした課題の解決のためには農業者の連携が必要不可欠

2011年3月29日 WFO(世界農業者機構)設立 本部:イタリア ローマ

1.機構の設立趣旨

生産者の経営や生活、家族、農村社会の改善を使命とし、世界の農業者の利益となる政策や賛同者をつくるため、各国の農業団体や農業協同組合組織を結集させる

2.機構の目的

- (1)世界中の農業者の生活向上と農村社会の活性化
- (2)会員間の協力の促進による世界の食料安全保障への貢献
- (3)農業生産者の組織化の促進や、食料の生産・流通・販売における農業者の影響強化
- (4)林業や漁業、環境、貿易、研究や教育など、その他の農業関連の活動との連携確保
- (5)持続的な農村開発や環境、気候変動や次世代継承のような新たな課題に関する農業者の関与の促進



JA全中副会長が共同議長を務めたWFO設立会合